

1. 支援する分野

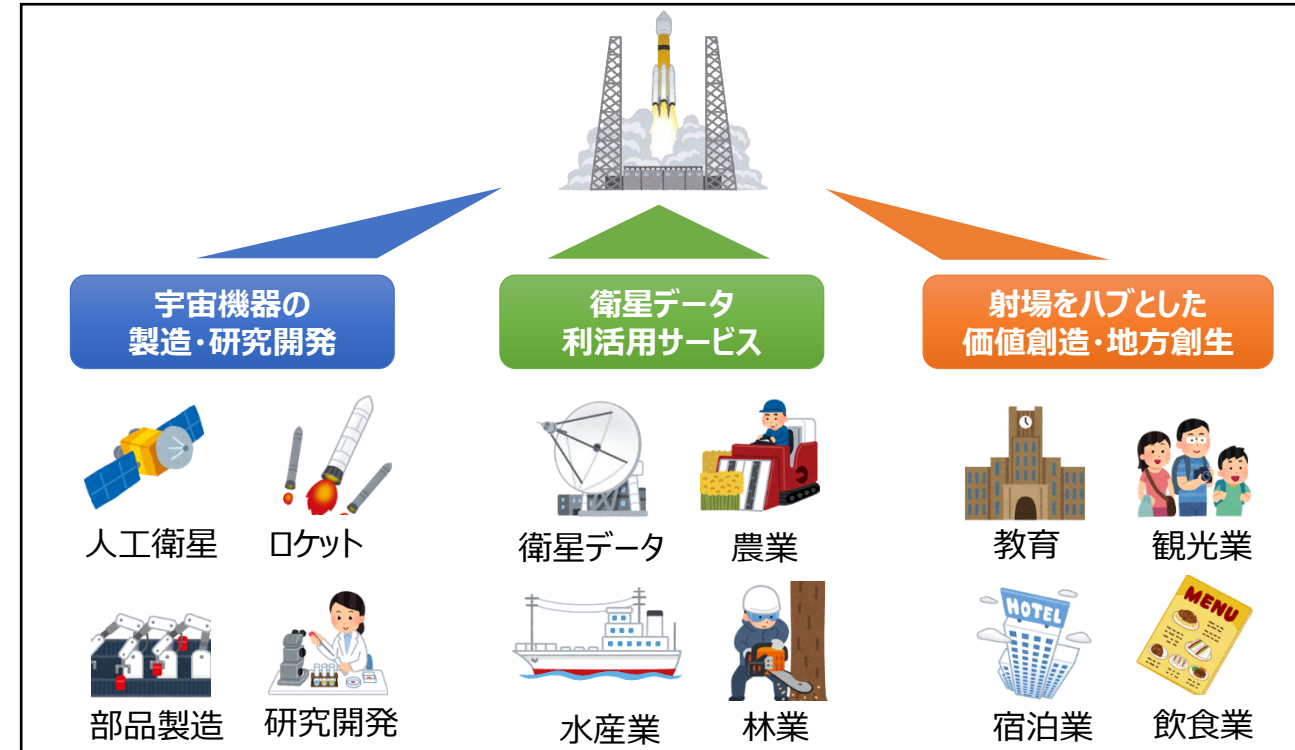
航空・宇宙関連産業

2. 支援する地域及び核となる事業者

- (1) 宇宙機器（ロケット・人工衛星等）の研究開発・製造等
 地域：南種子町、肝付町、南さつま市、鹿児島市、霧島市
 事業者：鹿児島県宇宙ビジネス創出推進研究会、JAXA等

- (2) 衛星データ利活用サービス等
 地域：鹿児島市、大隅地域、離島地域（大島地域、熊毛地域、三島・十島地域）
 事業者：鹿児島県宇宙ビジネス創出推進研究会等

- (3) 射場をハブとした新たな価値創造や地方創生
 地域：熊毛地域、大隅地域、鹿児島市、霧島市
 事業者：鹿児島県宇宙開発促進協議会、JAXA等



3. 目指す姿（目標）

- (1) 現状の整理
 ・本県は国内で唯一2つの射場を有する県であり、地域の関係機関等と連携したロケットの打上げへの協力体制の元、基幹ロケットや人工衛星等の打上げ実績に貢献している。
 ・一方、射場周辺への産業集積や、射場の民間利用、射場を活用した地域振興が課題である。
 ・また、国においては、宇宙基本計画等によりロケット打上げを高頻度化する方針（年間30機規模）が示されており、高頻度化に向け、射場周辺に製造や組立等の産業集積を図ることが重要である。
 ・さらに、本県は南北600kmにわたる多様な地理的特性（海洋、離島、火山、農地）を有しており、今後拡大が見込まれる衛星データ利活用サービスのビジネスが育つ実証フィールドとして潜在性が高い。
- (2) 目指すべき目標
 付加価値増加額13億円
 (R8：15.4億円⇒R18：28.4億円)

4. 勝ち筋

- 【宇宙機器分野】
 現在は他県で製造されているロケット・人工衛星等の宇宙関連機器について、打上げ高頻度化と射場の多機能化とともに、県内で製造・サプライチェーン構築をする必要性が高まる。R18までに製造業30社が宇宙分野に参入することにより付加価値を創出する。
- 【衛星データ利活用分野】
 県内企業の実証事業が社会実装へ進展することで、R18までにIT・情報関連企業20社が新たに宇宙ビジネスを創出・参入し、付加価値を創出する。
- 【新たな価値創造や地方創生分野】
 観光や教育などの分野と連携し、打上げ時のみならず、年間を通じた交流人口の増加等に向けた取組みにつなげることで、射場の地域資源としての更なる付加価値を創出する。

5. 政策手段

- 【宇宙機器分野】
 ・現行の規制・制度の見直しによる射場の民間利用や、国の宇宙基本計画や地域未来戦略に基づいた国やJAXAによる射場の再整備、道路・港湾等の周辺インフラ整備を促進。
 ・研究開発への補助金、展示会への出展支援など、参入を目指す企業への伴走支援を拡充。
 ・宇宙関連企業、施設の誘致に係る補助金拡充。
- 【衛星データ利活用分野】
 ・衛星データを活用した実証実験への補助金や、参入を目指す企業への伴走支援を拡充。
 ・衛星データ活用のメリットを広めるため、ユーザーとなり得る農林水産業者や行政職員等への普及啓発を推進。
- 【新たな価値創造や地方創生分野】
 ・県や市町村、関連産業事業者等における教育や観光などの分野との連携による取組の創出および支援。